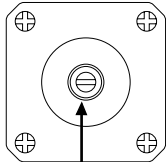


取付説明

3

KY-142



モーターのシャフトを回転させて確認 図 8

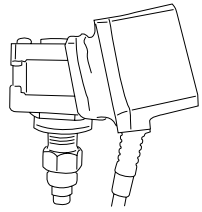


図 9

ゴムカバーが被っている事を確認して下さい

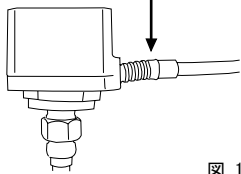
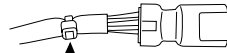


図 10



タイラップでケーブル保護チューブを縛る

図 11

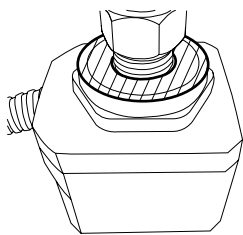


図 12

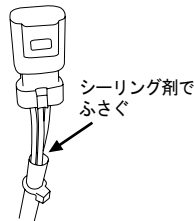


図 13

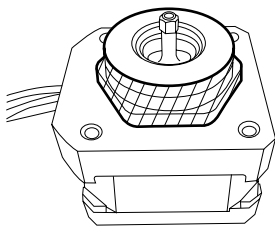


図 14

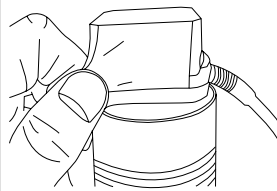


図 15

12) モーターを規定トルクで本締めして下さい。目安としては、仮締め位置から約10度程度です。

■ 規定トルク 3 N・m

(0.3 kgf・m、M5の小ネジの締付トルク程度です。)

⚠ **注意** 本締めの際には、モーターコア部(側面の黒い部分)に工具等で力を加えないで下さい。モーター破損の可能性が有ります。仮締め位置から12 N・m(45度)以上で本締めしますとモーターが破損する可能性が有ります。

13) 本締め後、マイナドライバーを使用して右に1回転、左に1回転させて、モーターシャフトがスムーズに回転する事を確認して下さい。(図8)

⚠ **注意** 本締め後のモーターシャフト回転確認でスムーズに回らない場合は、組付け不良及び部品の破損等が考えられます。再度分解して御確認後、再組立して下さい。

14) ゴムカバーを装着して下さい。(図9、10)

⚠ **注意** ゴムカバーは無理に引っ張ったりしますと破損する可能性がありますので丁寧扱して下さい。

⚠ **注意** ゴムカバーとモーターに隙間ができないように取り付けて下さい。また、ケーブル保護チューブにゴムカバーが被っている事を確認して下さい。ゴムカバーの取り付けが不完全な状態ですと、ほこりや水分等の侵入によりモーターの寿命を早めたり、損傷を与える可能性が有ります。

参考 ゴムカバーの口元にラストブルーフやグリスなどを少量塗布するとゴムカバーが取付け易くなります。

15) ケーブル保護チューブのコネクタに近い所をタイラップで縛って固定して下さい。(図11)

⚠ **注意** 保護チューブをタイラップで縛って固定しないと、ゴムカバーの中にほこりや水が浸入してモーターの寿命を早めたり、損傷を与える可能性があります。

16) モーターに水が直接かかる場所へ取り付ける場合は、図12の斜線部分にシーリング剤を塗布して下さい。又、ケーブル保護チューブの口をシーリング剤で塞いで下さい。シーリング剤は信越シリコンシーラント45相当をご使用下さい。(図12、13)

●倒立式ダンパーへ取り付ける場合の注意点

・モーターを倒立式ダンパーへ取り付ける場合には、図14の斜線部分にシーリング剤を塗布してから、モーターをダンパーに取り付け、その後ゴムカバーを被せて下さい。(図14)

参考 ゴムカバーを取り付けた時に、カバーの口元がめくれてしまったり、片寄りができてしまう場合には、カバーの四隅を2~3回づつ引っ張ったり放したりすると、カバーの形を整える事が出来ます。(図15)